

このプレスリリースに関するお問い合わせ先

(株) 加藤建築設計事務所 東京都新宿区弁天町 177 エクセルワセダ 5F 〒162-0851 03-5285-5833 (phone fax) kotofumi.com info@kotofumi.com

【2011年度グッドデザイン賞】を受賞

「これからの住まいのあり方を示唆する」として [広島ホールハウス] が高い評価を獲得

広谷ビル(広島県) + 加藤建築設計事務所(東京都) では、このたび公益財団法人 日本デザイン振興会が主催する「2011年度グッドデザイン賞」(G マーク) を [広島ホールハウス] で受賞いたしました。

[広島ホールハウス] では、半屋外のテラス、共用廊下に面した室、都市への眺望を重視した場所など、身体の一部を町へ拡張する仕組みを持った「形式」を実現。あたかも室の一部が街路につながっているかのような感覚を得られる空間として、特に開発の初期からデザイナーを交えて積極的に「新しい形式」を追究した開発に取り組みしました。

それに対して今回、グッドデザイン賞では特に「これからの住まいのあり方を示唆している」といった次世代のデザインが実現されている点が高く評価されました。

今回の受賞を契機に、さらに優れた運営とデザインの特徴をアピールすることを通じて、デザインの観点からも優れたものづくりに真摯に取り組んでまいります。

なお、本年度グッドデザイン賞授賞式は、11月9日(水)に東京ミッドタウン・ホール(東京都港区)で開催される予定です。



撮影：山岸剛



GOOD DESIGN AWARD 2011

■ 受賞対象名：集合住宅 [広島ホールハウス]

■ 事業主体名：有限会社 広谷ビル

■ 分類：住宅

■ 受賞企業：

有限会社 広谷ビル(広島県) + 株式会社 加藤建築設計事務所(東京都)

■ デザイナー：加藤詞史 / 株式会社 加藤建築設計事務所

■ デザイナーからのコメント

都市に暮らすことの豊かさは、まだまだ途上ではないでしょうか。共用廊下に開いた部屋、大通りに向かう数百メートルの眺望、半屋外のテラス、足もとを走る車、あたかも街路と直接つながる感覚を実現しました。これらによって新しい小集団の形成が模索され、都市が成熟していく一助になればと考えています。

■ グッドデザイン賞審査委員による評価コメント

アーバンデザイン的な観点から導かれたスケルトンと、インフィルとしての多様な住戸という構成の仕方は明快で、これからの住まいのあり方を示唆している作品である。(担当審査委員：難波 和彦/千葉 学/手塚 由比)

hiroshima whole house

広島ホールハウス

用途 共同住宅 (20 住戸 + 店舗 1)

敷地面積 302.5㎡

建築面積 172.8㎡

延床面積 1323.4㎡

構造規模 RC 造 10 階

高さ 30.33 m

工事着工 2010 年 4 月

竣工 2011 年 3 月

設計監理 加藤建築設計事務所

加藤詞史

構造設計 オーク構造設計

新谷真人

設備設計 テーテンス事務所

佐治行三

施工 セキスイハイム中四国

松村組

企画運営 広谷ビル

■ グッドデザイン賞ウェブサイトでの紹介ページ

<http://www.g-mark.org/award/detail.html?id=37606>

▼グッドデザイン賞とは

「グッドデザイン賞(G マーク)」は、1957年に通商産業省によって設立された「グッドデザイン商品選定制度」を継承し、1998年より財団法人日本産業デザイン振興会の主催事業として運営される、日本で唯一の総合的なデザイン評価・推奨制度です。これまで50年以上にわたって新しい時代の文化と生活を創造することを目的に「より豊かなライフスタイル」と「良いビジネス」を導く運動として展開され、のべ受賞件数は38,000件以上にのぼり、今日では国内外の多くの企業や団体が参加しています。また、グッドデザイン賞受賞のシンボルである「G マーク」はすぐれたデザインを示す象徴として広く一般に親しまれています。